

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
高橋正
印刷所
(株)東北プリント



公益社団法人 みやぎ農業振興公社 白石牧場繁殖牛舎落成式 (令和3年8月6日)

もくじ

CONTENTS

みやぎ農業振興公社 白石牧場の繁殖牛舎落成について…………… 2-3	農業大学校生の抱負…………… 9
宮城の新名物“せんぎゅう丼”デビュー!! …… 4	new face …… 10-11
第13回 J Aグループ「仙台牛」担い手枝肉共進会 東京食肉市場にて開催…………… 5	農林水産祭参加第61回仙台牛枝肉共進会の 開催について…………… 12
たい肥の処理について…………… 6-7	価格安定対策事業の発動状況について…………… 12
衛生便り…………… 7	
畜試便り…………… 8	
令和4年度宮城県農業大学校入校生を募集 (一般入校試験前期)…………… 9	



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



みやぎ農業振興公社 白石牧場の繁殖牛舎落成について

公益社団法人 みやぎ農業振興公社

令和2年度より白石牧場の施設整備を進めておりましたが、この度、今回の整備計画の核となる繁殖牛舎が完成しましたのでご紹介いたします。

公社では直営の白石牧場の施設の老朽化に伴い、新たな事業展開も含め今後どのように牧場を運営していくかの検討を続けておりました。今回、国の令和元年度補正予算で「公共牧場活用和子牛等増産対策事業（公共牧場機能強化等体制整備事業）」が創設され、事業計画の承認を受け牧場整備を行うことといたしました。

この事業の目的は、

- ① 肉用牛経営の生産基盤強化に資するために公社牧場が有する広大な草地と高い技術力をフル活用しながら、省力的かつ低コストで輸出にも適した優良な和子牛の増産を図ること
- ② 繁殖雌牛の飼養頭数の増加に対して、効率的な草地更新を進め牧草の生産性を上げるとともに、公社のコントラクター組織で生産された稲WC S等を活用しながら粗飼料自給率の向上を図ることとあります。

この度完成しました繁殖牛舎は面積が約1,300㎡、収容規模が100頭となっており、繁殖技術の向上に必要な分娩監視装置や発情発見装置などのICT機器も整備しております。

今回の事業ではこの他、雌牛100頭の導入、避難舎、堆肥舎、飼料庫の改修および草地関連機械の導入も行います。白石牧場では従来より宮城県の肉用牛改良方針に基づき、優良子牛を農家へ供給しておりますが、今回の事業導入により質・量ともにさらに向上した和子牛を生産できるようになると考えております。

また、広大な採草放牧地を活用している当牧場では省力的な子牛生産など大規模草地畜産の実践牧場という役割も担っており、今回の事業で生産性の向上および飼養管理作業の効率化につながると考えております。

今回の事業活用により、白石牧場のさらなる発展が期待できます。また、これを契機に繁殖牛経営の担い手の育成など新しい事業への取り組み計画もあり、今後も宮城県の畜産振興にさらに貢献していきたいと思っております。



繁殖牛舎外貌



繁殖牛舎内部

【新たな取り組み】

公社は、今回の牛舎整備を契機に、農家の後継者や新規参入者など、次世代を担う若手の研修牧場として地域のみならず宮城県における肉用牛生産基盤の持続的な強化に、公益法人の役目とし取り組む考えです。

研修期間は2年程度とし、この間に人工授精や受精卵移植技術、各種機械操作の資格取得、家畜の飼養管理や草地管理等を実学で学んでいただきたいと考えております。

(畜産振興班 高橋伸枝)

【宮城が誇る仙台牛を生産する畜産経営をめざして】

令和4年度 畜産経営担い手育成・研修生募集

宮城県の肉用牛生産振興施設・みやぎ農業振興公社白石牧場（農業次世代人材投資事業研修施設：県知事認定）において、優良牛生産や委託・預託事業等により、大規模繁殖経営を担う次世代の人材育成を行います。

☆募集内容☆

募集対象者

- ① 満18才以上
- ② 性別・経験の有無は問わない
- ③ 心身ともに健康であること
- ④ 県内で畜産農家の担い手として就農意志があること
- ⑤ 普通自動車免許を有すること

募集人員・研修期間

- ・ 毎年3名程度
- ・ 1～2年間（短期研修等応談）

募集期間等

- ・ 詳細については、下記にお問い合わせください

☆研修内容☆

研修場所

- ・ 公益社団法人みやぎ農業振興公社白石牧場
宮城県白石市福岡深谷字正人壇1-1

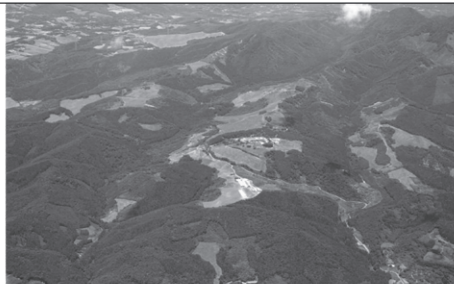
研修内容

- ・ 肉用牛の飼養管理に必要な知識・技術の習得（飼養管理・繁殖管理・人工哺育・人工授精受精卵関連技術・畜産経営・衛生管理）
- ・ 飼養実習と基礎学習、就農準備の実践的研修
- ・ 粗飼料生産、放牧利用、たい肥処理等の実習

研修条件

- ・ 研修受講料は無料（国から一定要件のもと、年150万円研修費助成制度あり）
- ・ 研修2年間
- ・ 研修受講に係る個人負担（作業服・交通費・宿泊費は自己負担）
- ・ 傷害保険加入（個人負担）
- ・ 研修時間 8時30分～17時15分（12時～13時休み他休憩時間あり）
- ・ 週休2日（土日）、祝日休
- ・ 資格（人工授精師等）支援

この研修は全農みやぎとの協力事業として取り組み、県・市町村・JAグループ等関係機関が連携し、研修期間を含め就農・就職に向け支援します。



☆お問い合わせは
こちらまで☆

公益社団法人 みやぎ農業振興公社
〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号
Tel 022-275-9193 Fax 022-275-9195
担当部署：畜産振興部研修事業担当



宮城の新名物“せんぎゅう丼”デビュー！！

「1,000（せん）円台で仙（せん）台牛（ぎゅう）を気軽にトライアル！」

宮城県農政部畜産課

新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる牛肉の外食消費の拡大を図るため、仙台牛銘柄推進協議会と仙台牛提供店が協力して、宮城が誇る銘柄牛「仙台牛」を使いながら気軽にお手軽価格で食べていただける、みやぎの新名物「せんぎゅう丼」を企画し、7月17日から仙台市内の8店舗で発売を開始しました。

「せんぎゅう丼」は①仙台牛がメイン食材②宮城県産米を使った“どんぶり”スタイル③価格は税込み1,000円台（1,000円から1,999円）の3つの決まりの中で、店舗ごとに工夫を凝らしたバラエティに富んだメニューになっています。

この機会に、宮城県が世界に誇るブランド「仙台牛」を使った「せんぎゅう丼」をぜひ御賞味下さい。

（せんぎゅう丼公式HP（仙台牛銘柄推進協議会） <https://sendaigyu.jp/>）



肉のいとう 仙台駅1階店
仙台牛すき焼き煮丼

シンプルに調味した割り下で仙台牛をじっくり煮込んだすき焼き煮で、肉の甘みをストレートに感じる丼。
（ローストビーフ丼、カルビ丼、ハンバーグ丼もあり。）



すき焼・割烹 かとう
仙台牛味比べ丼

希少部位のトウガラシや高級なヒレなど、精肉店直営だからこそできるさまざまな部位を使った贅沢な丼。



鉄板ダイニング譽TAKA 定禅寺通り店
はみ出るリブロース丼

すき焼き用の仙台牛リブロースを約120gも使用し、肉がはみ出たビジュアルがインパクト大。
（オムシチューライス、焼肉丼もあり。）



仙台牛と和風個室
すていき小次郎 仙台北店

仙台牛もも100gローストビーフ丼
老舗自慢の味・ローストビーフをふんだんに使った豪快かつ上品な味わい。
（テイクアウトのみ）



JA全農直営 グリルみのる
仙台牛のローストビーフ丼

仙台牛のきめ細やかなサシを活かした、鮮やかな桃色のローストビーフ丼。



焼肉レストラン ひがしやま仙台駅前店
ザ・モール仙台長町店、六丁の目店
仙台牛石焼ビビンバ

7種のナムルと仙台牛を、あつあつの石焼きで豪快に混ぜて食べる一杯。
ご飯は仙台牛のダシで炊いた特製飯。

第13回JAグループ「仙台牛」担い手枝肉共進会 東京食肉市場にて開催

全農 宮城県本部 畜産部

第13回JAグループ「仙台牛」担い手枝肉共進会が、9月10日に東京都中央卸売市場食肉市場において開催され、盛会のうちに終了しました。

《チャンピオン牛》

出品者 渡辺 一憲 (JAみやぎ登米)
 血統 父：美津照重 母の父：百合茂 母の母の父：安福久
 規格 去勢 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 567kg
 枝肉単価 3,807円

《最優秀賞》

出品者 菅生 亮太 (仙南肉牛研究会)
 血統 父：幸紀雄 母の父：安福久 母の母の父：福之国
 規格 去勢 A-5 BMSNo.11 枝肉重量 580kg
 枝肉単価 3,016円

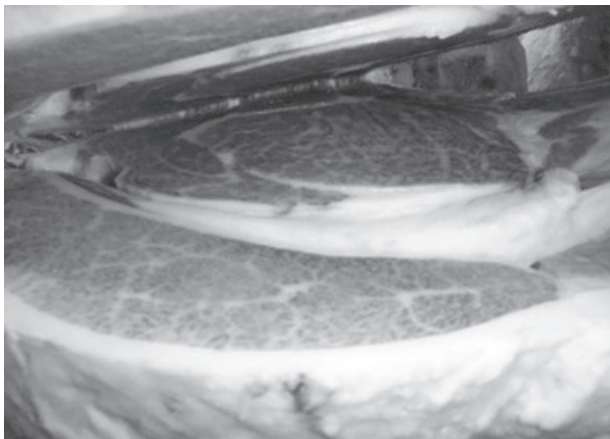
出品者 川村 大樹 (JAいしのまき)
 血統 父：幸紀雄 母の父：安福久 母の母の父：勝忠平
 規格 去勢 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 641kg
 枝肉単価 3,006円

《優秀賞》

遠山 和 (JA新みやぎみどりの地区本部)、菅野 豊博 (JA新みやぎみどりの地区本部)、
 佐々木 愛恵 (JA古川)、渡辺 利成 (JAみやぎ登米)、鈴木 善和 (JAみやぎ登米)

チャンピオン牛に関しまして、格付は「A-5」で枝肉重量567kg、ロース面積118cm²、バラの厚さ9.5cm、皮下脂肪の厚さ2.1cm、歩留基準値82.1でした。

今共進会では、全42頭(去勢31頭・メス11頭)が出品されました。去勢の平均枝肉重量は572.1kg、メスの平均枝肉重量は438.8kgでした。肉質等級では、5等級が全体の81%と素晴らしい結果でした。



チャンピオン牛 断面図



受賞者 渡辺一憲 (JAみやぎ登米)

(生産販売課 酒巻岳仁)

たい肥の処理について

宮城県農政部畜産課

畜産業を営む上でたい肥の処理は経営の安定化と切っても切れない関係です。不適切なたい肥の処理は悪臭や汚水の発生に繋がり、周辺環境に悪影響を及ぼします。持続的な畜産経営の発展のためにも、適切なたい肥処理が重要です。

1 家畜排せつ物法の管理基準の遵守

平成16年に「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（家畜排せつ物法）」が本格施行され、現在ではほぼ全ての対象農家が同法の管理基準を遵守しているところですが、しかし、たい肥舎等の施設の経年劣化が進んでいる事等を踏まえ、その点検・維持を着実に実施していく必要があることから、今後は同法の管理基準のうち「管理の方法に関する基準」の遵守が一層重要になります。家畜排せつ物の不適切な管理（野積み・素掘り等）に加え、管理施設の不具合により流出や地下浸透が発生すると、家畜排せつ物法だけでなく、水質汚濁防止法や廃棄物の処理及び清掃に関する法律に抵触する可能性もあり、罰則が科される場合もありますので、日頃から管理施設の点検等の実施をお願いします。

～ 管理基準の概要～

1 管理施設の構造設備に関する基準

- ① 固形状の家畜排せつ物の管理施設は、**床を不浸透性材料（コンクリート等）**で築造し、**適当な覆い及び側壁**を設けること。
- ② 液状の家畜排せつ物の管理施設は、**不浸透性材料で築造した貯留槽**とすること。

2 家畜排せつ物の管理の方法に関する基準

- ① 家畜排せつ物は**管理施設において管理**すること。
- ② 管理施設の**定期的な点検**を行うこと。
- ③ 管理施設の床、側壁等に破損があるときは**遅滞なく修繕**を行うこと
- ④ 家畜排せつ物の年間の発生量、処理の方法等について**記録**すること。

管理基準の適用対象外

- 牛又は馬10頭未満
- 豚100頭未満
- 鶏2,000羽未満

2 家畜排せつ物のたい肥化のポイント

家畜ふん尿はそのままでは廃棄物に過ぎませんが、たい肥化することで貴重な有機物資源に生まれ変わります。たい肥化は、最も安価で簡便な家畜ふん尿処理方式です。また、利用や販売を考えれば、良いたい肥を作ることが大切になってきます。

良いたい肥の条件として、以下の3つが上げられます。

- ① 好気性微生物（酸素がないと上手く働かない微生物）がふん尿に含まれる有機物を分解することによって、ふん尿臭をなくし、水分が少ない汚物感のない、取扱い易いたい肥であること
 - ② 有機物の分解による60°C以上の発酵熱で、病原菌や雑草の種子を死滅させた衛生的で安全なたい肥であること
 - ③ 有効な土壌改良資材や、作物に害を与えない程度に腐熟が進んだ肥料成分を有する有機質肥料であること
- ※嫌気性微生物も有機物を分解しますが、発酵熱の代わりに悪臭ガスや作物生育阻害物質が発生します。

これらの条件を満たすたい肥化のポイントは水分調整と切り返しです。

①水分調整の目安

たい肥化に重要な好気性発酵を促すためには通気性の確保が重要です。通気性が発現するためには、容積重を700kg/m³以下にしなければならず、バケツではかる場合は測定誤差も考えて、0.65kg/ℓ以下を目安にします。このような条件下でのたい肥化発酵スタート時の水分は、下記のとおりです。

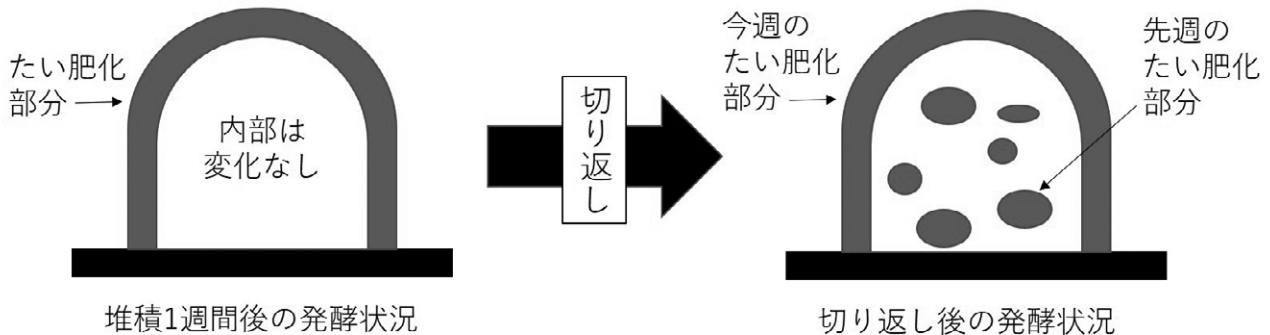
畜種	副資材無使用	戻したい肥混合	オガ屑混合	モミ殻混合
牛	65%以下	68%以下	72%以下	75%以下
豚・鶏	55%以下	58%以下	62%以下	65%以下



10ℓを6.5kg以下に調整

② 切り返し

堆積したたい肥表面の通気性は十分に確保されていても深部には空気が届きにくいので、均一な発酵を進める上で切り返しは重要です。切り返し作業により内部のふんが表面に出て、たい肥化が進行することで、60℃以上の発酵熱が十分に発生し、また早くたい肥化が終了します。切り返しの頻度はできれば週に1回、最低でも月に1回は行ってください。



3 最後に

現在、宮城県では家畜排せつ物の処理方法の現状を把握するため、家畜排せつ物法適用農家全戸を対象に立入調査を行っています。家畜保健衛生所及び地方振興事務所畜産振興部より連絡があった場合は御協力いただきますようお願いいたします。

(草地飼料班 小林真言)

〈衛生便り〉

高病原性鳥インフルエンザの発生予防に向けて ～飼養衛生管理基準の遵守徹底を～

宮城県北部家畜保健衛生所

高病原性鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスの感染による家きんの病気です。感染力の強さと高い死亡率を示し、ひとたびまん延すれば、養鶏産業全体に甚大な影響を及ぼすことから、特定家畜伝染病に指定されています。症状は、鶏冠、肉垂等のチアノーゼ、沈うつ、産卵率の低下等を示しますが、急性例では、症状を示さずに複数羽がまとまって死亡する状況が確認されます。

昨年度は、18道県58事例で野鳥へのウイルス感染が確認され、本県でも、本年2月にオオハクチョウからウイルスが確認されました。また、家きんでは18県、52事例、75農場1施設で約987万羽の発生があり、過去もっとも発生が多いシーズンとなりました。本県での発生はありませんでしたが、県内の養鶏場で飼養されている家きんの一部が疑似患畜となり517羽の殺処分及び防疫措置を実施しました。

感染経路は、渡り鳥によって海外から持込まれ、野鳥や野生動物を介して鶏舎内にウイルスが侵入するものと考えられています。そのため、発生予防のため、引続き飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。なかでも、以下の病原体の侵入防止対策と野生動物侵入防止対策が重要です。

【人・物・車両によるウイルスの持込み防止】

- ・衛生管理区域や家きん舎に立ち入る場合又は物を持込む場合の専用手袋や靴の着用、手指の消毒、持込む物品の消毒

【野生動物侵入防止】

- ・防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損や隙間の修繕
- ・家きん舎周囲の清掃、整理・整頓

今シーズンの渡り鳥の飛来に備え、飼養衛生管理基準のチェックシートを使って、今のうちから不備がないか確認しておきましょう。なお、死亡率の増加など異常が認められた際には、最寄りの家畜保健衛生所や畜産振興部にご連絡ください。

(防疫班 真鍋 智)

〈畜試便り〉

宮城県養豚研究会 令和3年度第1回研究集会について

宮城県畜産試験場

令和3年8月6日、宮城県養豚研究会（事務局：宮城県畜産試験場）主催による令和3年度第1回研究集会を開催しました。前回に引き続き、Zoomミーティングによるリモートでの開催となりましたが、リモートでの対応が難しい養豚農家の方々のため、大崎市立図書館にスクリーン会場を設置しました。

今回の研究集会は、59名の参加があり、「夏場対策について考える」をテーマに、(株)沖縄県食肉センターの大城守先生とOASIS（オアシス）の大井宗孝先生からご講演いただきました。農家の実例や科学的データを示しながら、大変わかりやすくご講演いただき、東北においても年々気温が上昇している昨今の状況下で非常に参考になる内容でした。また、総合討論では、「豚熱」に関する話題にも触れ、参加者と活発な討議が行われました。

はじめに、大城先生に「沖縄県における暑熱対策」についてご講演いただきました。最近の研究では、暑熱ストレスは、食欲不振による発育遅延だけでなく、様々な病態に関与していると説明がありました。沖縄県は、本州に比べて湿度が高く、夜の気温が下がりにくい特徴があるが、対策の基本は変わらず、換気による湿度コントロールと水が重要で、特に分娩前後の母豚には水を積極的に飲ませることが重要と述べられていました。また、豚が何を望んでいるかを常に考えながら、各農場に合わせた取り組みが必要という話が印象的でした。

次に、大井先生から「豚への暑熱ストレスの影響と対策」と題してご講演いただきました。対策の基本は、①豚舎の環境温度を下げる（エコクーラー、クーリングパッド）、②豚の体感温度を下げる（ドリップクーリング、送風、氷の利用）、③飼料内容の検討（リキッド飼料の活用、添加剤）であると説明がありました。ここ数十年間は、暑熱の影響で出荷頭数が減少し、豚肉価格が上昇することを繰り返していることから、夏場にしっかり成績を残した農場が勝ち組になる、「夏を制するものは養豚を制す！」との言葉はとて心に残りました。

総合討論では、参加者から、沖縄県における豚熱の発生と対策に関する質問があり、大城先生から、沖縄県では、豚熱の発生が限定的で琉球イノシシの生息域外であったことと、ワクチンを早急に接種開始できたことがイノシシへの感染防御につながったとご回答がありました。また、子豚への豚熱ワクチンの適正時期について質問があり、大井先生から、ワクチンの接種時期を早めても、感染リスクはゼロにはできないので、農場周辺で感染イノシシが見つかるような農場では、農家が負担してでも2回目の接種を考えるべきであり、さらには、農場に壁を作ったり、積極的にイノシシを捕獲するなど、豚舎内にウイルスを入れない対策をとるべきだにご回答がありました。

なお、令和3年度第2回研究集会は、令和4年3月の開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

(種豚家さん部 高森 広典)



〈New face〉

畜産試験場 種豚家きん部
養豚家きんチーム 庄司 宙希

はじめまして。令和2年11月より宮城県畜産試験場種豚家きん部養豚家きんチームに配属されました、庄司宙希（ひろき）と申します。生まれは仙台で、令和2年3月に宮城大学食産業学部を卒業しました。大学では動物生殖学研究室に所属し、ウシ卵巣における卵胞発育抑制に関わる遺伝子発現についての研究をしていました。趣味は楽器演奏で、休日にはマリンバやバイオリンの練習に勤しんでいます。

大学進学時は、生物学全般への興味から食産業学部を選択しました。やがて、分子生物学に興味を持ち始め、よりヒトと関わりが深い内容を学びたいと考えたことから、動物生産科学コースを選択しました。就職を考える前は、生物学的な内容への興味関心が強く、畜産系の職種へ就職することになるとは考えもしませんでした。しかし、地元仙台で大学での学びを生かした仕事に就きたいと考えたとき、畜産職への興味が芽生えました。豚に関わる新たな知識を日々習得する中で、畜産職に就くことができ本当に良かったと感じています。

今年の5月から3か月間、つくば市にある農研機構畜産研究部門にて、家畜育種に関わる研修を受けてまいりました。その中で、数字として得られるデータから、環境などの要因を考慮し、家畜個体の遺伝的能力を推定する方法について学んできました。現在は、これまで場内で蓄積されてきた繁殖記録（総産子数や離乳頭数など）について、育種学的手法を用いた解析を行い、「しもふりレッド」の能力向上に取り組んでいます。これまでは直接動物と触れ合う機会が少なく、専攻とも異なる動物種ということで、日々の飼養管理から学ぶことが多く勉強の毎日です。農家さんにより使っていただきやすい豚となるよう、今後の改善、能力向上に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

NOSAI宮城 県南家畜診療センター
大澤 里茉

初めまして。今年度から宮城県農業共済組合で働かせていただくことになりました大澤里茉です。出身地は神奈川県で、大学も神奈川県にある麻布大学に通っていました。大学在学中の牧場実習で住み込みの牧場従業員体験をしたことから、牛に興味を持ち、今宮城県で大動物の臨床獣医師として働いています。大学時代には寄生学虫研究室に所属していて野生動物の解剖や糞便検査をしていたため、普段牛に触れる機会がなく、今は毎日往診随行をし、牛の捕まえ方や脅かせないような近づき方など初歩

的なことから牛の診療について学んでいます。

農家さんの生活がかかっている牛を治療するということは責任のあることなので緊張もしますが、日々臨床経験を積み、安心して任せられる獣医師になりたいです。

また、せっかく宮城県という新しい地に住むことになったので、宮城の自然や歴史に親しみたいと思います。米所であり、日本酒も美味しく、海では新鮮で美味しい魚介類がとれ、温泉が各地にあり、ドライブするのが楽しい自然に溢れた宮城県の魅力にもっと触れたいです。これからは秋、冬と寒くなって雪も降り、紅葉や雪とまた違った景色を見せてくれるのだと思います。雪道運転には十分注意しなくてはいけません、冬の宮城も楽しみにしています。

至らぬことばかりで先輩方に迷惑をかける日々ですが、一人前の獣医師を目指して日々努力いたしますので、これからよろしく願いいたします。

NOSAI宮城 中央家畜診療センター

天野 真衣



こんにちは。本年度より宮城県農業共済組合中央家畜診療センターに配属にされている天野真衣と申します。

出身は東京都です。本組合に就職が決まるまで宮城県を訪れたことはありませんでしたが、食べ物と日本酒が美味しく、山も海も温泉もある宮城県に、既に居心地の良さを感じています。地元は特筆すべきことがない住宅街ですが、仙台を訪れた際には

地元を思い出して恋しくなることもあります。

出身大学は北海道にある酪農学園大学です。北海道の雄大な自然の中で大学生活を送り、大動物の実習を体験する中で、将来は自然豊かな場所で牛の臨床現場に携わりたいと思うようになりました。また、本組合で実習させて頂いた際に、獣医師の先生方が真摯に牛を治療している姿に感銘を受けたのも、この道を志した理由のひとつです。研究室では皮膚細胞を培養し、アトピー性皮膚炎に関する実験を行っていました。牛とは関係のない基礎研究ではありましたが、良い思い出です。

趣味は映画鑑賞と旅行です。コロナ禍なので休日は家でよく映画を観ていますが、この状況が落ち着いたら東北の色々な場所を旅行したいです。

現在は先輩獣医師や農家の方々にご指導頂きながら研修を行っています。分からないことが多く、自分の至らなさを痛感する日々ですが、精一杯勉強していきます。また、直腸検査や輸液など、技術面でも苦戦していますが、一歩ずつ進歩したいです。皆さまに信頼して頂ける獣医師になれるよう頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。

NOSAI宮城 県北家畜診療センター

徳永 朱里



初めまして、4月から宮城県農業共済組合に所属しました徳永朱里と申します。出身地は群馬県で、出身大学は東京農工大学です。実家では犬と猫を飼っており、動物が好きだったので、動物に関わることができる獣医学部を志しました。大学受験期は朝飼い猫が起こしに来てくれたり、早朝でも犬と猫が出迎えてくれたりと、とても心の支えになりました。これまで牛との関わりがあまりなく、大学では小動物臨床の研究室に所属していましたが、大学単位でのNOSAI実習をきっかけに、大動物の獣医師に興味を持ちました。

牛の獣医療はとてもダイナミックで、往診に行くこともダイナミックな治療もとても新鮮でした。新社会人としてNOSAI宮城に入り、人としても獣医師としても、まだまだできないことや勉強できてないことがたくさんあり、日々いろいろな人に助けられていると感じます。毎日少しずつでも成長して、頼れる獣医師になればと思います。また、牛と同じくあまり関わりのなかった宮城県に来ることができたので、自然や温泉や食べ物など、宮城県のことを知って、ここでの生活を満喫したいと思います。まだまだ未熟ものですが、よろしくお願い致します。

農林水産祭参加第61回仙台牛枝肉共進会の開催について

全農 宮城県本部 畜産部

農林水産祭参加 第61回 仙台牛枝肉共進会を下記の内容にて開催することとなりました。新型コロナウイルスの影響により、畜産業界は深刻な打撃を受けており、いつ回復するのか、出口が分からない状況が続いております。仙台牛の改良意欲の高揚、並びに生産肥育技術の向上を図り、市場流通の確立と生産農家の経営安定化に繋がる共進会として開催いたしますので、多数ご参観くださるようご案内申し上げます。

1. 会期及び場所

(1) 会期 令和3年11月 7日(日)～9日(火)

(2) 場所 仙台市宮城野区扇町六丁目3番6号 仙台市中央卸売市場食肉市場

2. 出品区分及び条件

(1) 肥育の完成されたものとする。

部	品 種	区 分	条 件	備 考
第1部	黒毛和種	去 勢	枝肉重量450kg～700kg	ただし、瑕疵のある枝肉は審査対象外とする。
第2部	黒毛和種	雌	枝肉重量380kg～600kg	

(2) 出品牛は出品者において12ヶ月以上飼養され最長飼養地が県内のものとする。

(3) 出品牛は血統明確なもので、これを証明する書類(子牛登記書等)を有すること。

3. 出品頭数及び屠畜・販売日

部	品 種	区 分	頭 数	合計頭数	屠畜月日	販売月日
第1部	黒毛和種	去 勢	110	150	11月8日	11月9日
第2部	黒毛和種	雌	40		11月8日	11月9日

(生産販売課 酒巻岳仁)

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

(単位:円)

販売月	肉専用種(宮城県)	交雑種(全国)	乳用種(全国)
令和3年4月 (概算払)	(0.000円)	(0.0円)	(33,157.4円)
精算払	0.000円	0.0円	35,362.8円
5月 (概算払)	(8,016.000円)	(0.0円)	(21,420.5円)
精算払	10,688.000円	0.0円	21,505.5円
6月 精算払	26,019.900円 【19,514.925円】	26,485.2円	29,786.4円
7月 (概算払)	(0.000円)	(36,498.9円)	(29,957.7円)

※1 令和2年5月以降の肉専用種は、積立金不足により国費分のみ(3/4相当額)の支払いとなります。

※2 令和3年6月の肉専用種の精算払いで、負担金猶予牛(免除)の交付金は【 】の金額となります。

※3 令和3年7月以降の概算払いは、配合飼料価格安定基金制度の交付金が高額となっているため、控除額が4,000円から6,000円に変更となります。

◎肉用子牛生産者補給金(子牛補給金)の交付金単価 令和3年度第1四半期 交付なし

◎肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の交付金単価 令和3年度第1四半期 交付なし